

平成26年度中期発がん性試験の対象物質選定リスト

	名称(別名)	CAS番号	化審法 官報公示 整理番号	化審法 旧二監 No.	選定リストに入れた 理由	微生物を用い る変異原性試 験結果	哺乳類培養細胞を 用いる染色体異常 試験結果 (その他の遺伝毒 性試験結果)	融点() 沸点() 蒸気圧(kPa)	性状等	用途	製造・輸入量 (平成22年度) (注1)	製造・輸入量 (平成23年度) (注2)	備考	別紙資料の情報源 ／ 試薬の入手可能性	試験媒体の 検討状況
1	1,4-ジプロモブタン	110-52-1	9-2008	978	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2、かつ、厚労省試 験で強い変異原性あ り	陽性 比活性値 1.6×10^3	陽性 D20値 0.075	-16.5 197 8.2×10^{-2} (25)	無色透明 の液体	医薬原料	× (届出が2社以下の ため非公表)	× (届出が2社以下の ため非公表) 化学工業日報社2 011年推定 30t	類縁物質である1 - プロモブタン は、がん原性指針対象物質	RTECS GHS 538 化学商品 変異原性 試薬入手可	未
2	1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン	99-54-7	3-455	992	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2、かつ、厚労省試 験で強い変異原性あ り	陽性 比活性値 1.10×10^4	陽性 D20値 0.085	43 255.5 1.36×10^{-3} (25)	固体	医薬・農薬・染料・顔料中間体	1,000t未満 (ジクロロニトロベン ゼンの異性体の合 計)	× (届出が2社以下の ため非公表) (ジクロロニトロベン ゼンの異性体の合 計)	異性体のうち、 ・1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン ・2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン は、がん原性指針対象物質	RTECS GHS 経産1-166 環境リスク評価 8 ICSC DFG G 変異原性 S3 試薬入手可	未
3	4 - {[1 - n - アルキル(C = 1 ~ 6) - n - アルキル(C = 6 ~ 1 2)] (ただし、炭素数の合計は10 ~ 13)}ベンゼンスルホニル = アジド	該当なし	3-4380 (安衛法 整理番号 4-(13)- 213)	586	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	陽性 比活性値 8359	陰性	混合物のため、一定の 値なし	粘性液体	医薬品原料	× (届出が2社以下の ため非公表)	× (届出が2社以下の ため非公表)	混合物 以下が成分相当品の1つか？ ●ドデシルベンゼンスルホニル アジド(CAS 79791-38-1)	< 物質特定できず > 化学商品 ドデシルベンゼンスルホニルアジド(ソフト 型)(混合物) 試薬入手可	自己反応性が高く、試 験は困難か？
4	10 H - 9 - オキサ - 10 λ (5) - ホスファフェナントレン - 10 - 1 - オン・1, 4 - ナフトキノ・(フェノール・ホルムアルデヒド重縮合 物の1 - クロロ - 2, 3 - エギキシプロバンによるグリシジルエーテ ル化変成物)重縮合物	該当なし	7-2606	589	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	陽性 比活性値 1900	陽性 D20値 2	高分子化合物のため、 一定の値なし 融点、沸点は相当高い と推測される	固体と推 測される	非公表	× (届出が2社以下の ため非公表)	× (届出が2社以下の ため非公表)	物質特定できず 検索でも化審法関係記述のみ該 当	< 物質特定できず >	未
5	4 - tert - ブチルフェノール	98-54-4	3-503	828	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	陰性	陽性 D20値 0.0092	98 237 3.0×10^{-2} (20)	固体	ポリカーボネート樹脂の分子量調 節剤、油性性フェノール樹脂(接 着剤、インキ、ワニスなど)、各種 合成樹脂変性(改質剤)、香料原 料、安定剤原料(塩化ビニル)、界 面活性剤	50,000t (モノアルキル(C=3 ~ 9)フェノールの 合計)	30,000t (モノアルキル (C=3 ~ 9)フェノ ールの合計)	ラットの二段階発がんモデル試 験の情報あり(標的は胃、結果 は陽性)	RTECS GHS 経産 1-368 化学商品 SIDs, ICSC 試薬入手可	平成25年度の次候補 試験媒体の検討済み (オリブ油に可溶で、か つ1週間以上の安定性 あり)
6	1, 2, 3 - トリクロロベンゼン	87-61-6	3-74	920	化審法スクリーニング 評価で変異原性クラ ス2	情報なし	陰性 (in vivo 小核試験: 陽性)	51.3 218.5 2.8×10^{-2} (25)	白色結晶	染料・顔料中間物、トランス油、潤 滑剤	× (トリクロロベンゼン の異性体の合計) (届出が2社以下の ため非公表)	× (トリクロロベンゼン の異性体の合計) (届出が2社以下の ため非公表)	ラットの二段階発がんモデル試 験の情報あり(標的は肝臓、結 果は陰性)	RTECS GHS 経産1-290-2) 環境リスク評価 4,9 化学商品 ATSDR DFG 3,G Merck 試薬入手可	未
7	2 - クロロピリジン	109-09-1	5-720		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性	(マウスリンフォーマ 試験:陽性)	-46.5 170 2.91×10^{-1}	液体	医薬・農薬中間体	1,000t	1,000t		RTECS GHS 21A3696 Sax Toxicol Appl Pharmacol 11; 361 試薬入手可	未
8	1, 4 - ブタンジオールジグリシジルエーテル	2425-79-8	2-396		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性 6.06×10^2	(in vivo小核試験: 陽性) (マウスリンフォーマ 試験:陽性)	-21.5 294 2.5×10^{-4} (25)	液体	接着剤原料	1,000t	1,000t	マウスの経皮投与発がん性試験 情報あり(結果は陰性)	RTECS GHS 24A6129 Patty' Toxicplogy DFG G 試薬入手可	未
9	ブチルフェニルグリシジルエーテル	3101-60-8	3-575		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性 1.05×10^4	陰性	3.5 245 3.61×10^{-4}	液体	エポキシ樹脂の反応性希釈剤	1,000t未満	1,000t未満		RTECS Lide Patty' Toxicplogy 試薬入手可 ただし、品名からみて樹脂変性品の可能性 あり	未
10	5 - ニトロインダゾール	5401-94-5	5-270		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」	陽性 5.09×10^3		207 383 1.31×10^{-6} (20)	固体	写真薬	× (届出が2社以下の ため非公表)	届出なし		RTECS 試薬入手可	未
11	臭素酸ナトリウム	7789-38-0	1-115		平成25年度遺伝毒性 評価WGで「強い遺伝 毒性あり」		(in vivo小核試験: 陽性)	381 1390 1.33×10^{-1} (806)	固体	医薬部外品添加物(パーマネント ウェーブ用剤)、試薬	1,000t未満	1,000t未満	類縁物質である臭素酸カリウム は、遺伝毒性及び発がん性あり (IARCは2B) 遺伝子改変マウスの発がん性試 験情報あり(結果は陰性)	RTECS GHS 経産 1-235-2) 化学商品 NTP GMM 6 Merck 試薬入手可	未

(注1) 一般化学物質の製造・輸入数量(平成22年度実績)(経済産業省)

(注2) 一般化学物質の製造・輸入数量(平成23年度実績)(経済産業省)

平成24年度第3回企画検討会のリストに掲載されており、今回のリストから除外した物質(4物質)

平成25年度の中期発がん性試験の対象とした物質

・2 - ビニルピリジン

・1,3-ジプロモプロパン

中期発がん性試験が困難な物質

・3,3'-ジメチル-4,4'-ビフェニレンジイソシアネート(25年度試験対象だったが、適切な試験媒体がないため、試験は困難)

・三フッ化窒素(常温で気体のため、試験は困難)

:今回のリストに追加した物質(5物質)